

広報 トピックス



〈歌志内中学校入学式〉

4月5日、歌志内中学校で入学式が行われ、校長先生や来賓の皆さんから中学生としての心構えや、お祝いの言葉を送られた新入生21人は、新たな気持ちで中学校生活をスタートさせました。



〈歌志内幼稚園入園式〉



歌志内幼稚園で、4月9日の入園式が行われ、保護者のかたが、見守るなかから新入園児16人は、これからはつしよに遊んだりするお友達と楽しそうに心をはずませていました。



〈歌志内小学校入学式〉



4月5日、歌志内小学校で入学式が行われ、少し緊張した面持ちで会場に迎えられた新1年生21人は、これから始まる小学校生活への期待に、胸をふくらませていました。

会員作品
歌志内俳句会選

なまり色海のしづけきニシン群来 須藤 涼子
四方の山笑窪あばたに春の雨 石塚 トキ
BGM聴きつつ試歩や春の風 吉岡 ゆか
土手くぐる一筋の水雪の果て 佐藤 清子
介護湯に羞じらひ未だ四月馬鹿 勝部 貞子
誰も居ない部屋にもノック春の風 高瀬 仁孝
梅いづれ武士の誉まれの男坂 岡部 康一

市民の ひろば



俳句

後藤 妙子
大震災はや一年の雪の果て 横山 冬青
食卓に猫も正座す干かれひ 大沼 きみ
浜風に身を反らしりて干鰈

絵手紙



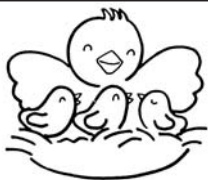
「花の季節に」
講師 花田 二美恵



「若葉の季節」
川邊 広子

市民のひろばへの作品投稿は、広報情報グループ(市役所3階☎42321)までご連絡ください。

うちの子も げんきです



たなか ゆうた
田中 悠太くん
とお母さん



神威市街
お父さん・洋大さん
お母さん・幸恵さん
長男（1歳3か月）

お母さんのひとこと

ほとんど人見知りもせず、とても元気で活発な子です。

絵本が大好きで、いつも自分で持ってくる絵本をわたしが読んであげたり、家で飼っている犬といっしょに遊んだりします。

誰にでも好かれ、このまま元気でたくましい男の子に育ってほしいですね。



〈保育所へレゴブロック寄贈〉

▲神威保育所で4月12日、(財)歌志内交通安全指導センターの志内自動車学校管理者の志内雄さんからレゴブロックが寄贈され、子どもたちはうれしそうにお礼を述べました。



〈セーフティーコール〉

▲4月6日、道の駅チロルの前で街頭啓発が行われ、交通事故死者の発生本数や、交通安全の係者71人が参加し、交通安全を呼びかけていました。



〈子ども工作と映画の集い〉

3月30日・31日の2日間、郷土館で子ども工作と映画の集いが開催され、集まった子どもたちは、東京スカイツリーなどのペーパークラフトづくりに挑戦していました。



〈自動車学校1日開放〉

▲自動車学校で1日開放事業が4月13日に開催され、参加した皆さんは交通事故防止に関する講話を聞いたあと、専用の器具を使用して高齢者疑似体験などの実技を行いました。

図書館 だより



行事

■移動どうわ会

▼とき 5月10日(木) 15時

▼ところ 東光児童館

▼内容 本の読み聞かせ、紙しばい、工作

■移動としよかん

▼とき 5月17日(木)

▼ところ

▼楽生園(14時30分)

▼給食センター(15時45分)

▼市民体育館(16時15分)

読んでみませんか？

『希望の地図』 (重松 清著)

大切な人を失い遺された家族の、せつなくも温かい物語をいくつもつづってきた著者が描く「震災後」の世界。

新しい一步をふみだすための希望の地図とは？

『平蔵の首』 (逢坂 剛著)

池波正太郎の傑作「鬼平犯科帳」の主人公、長谷川平蔵。長年の愛読者でもあった著者が満を持しておくる新しい鬼平の物語です。

『浄土真宗はなぜ日本でいちばん多いのか』 (島田裕巳著)

語です。

『鉄のしづきがはねる』 (まはら三桃著)

三郷心は男ばかりの北九州工業高校電子機械科でシステムエンジニアを目指す女子高生。しかし、ものづくり研究会の手伝いになりだされ、鉄の塊を削ることになり…。ものづくりの楽しさがつまった青春小説。

『通訳』たちの幕末維新』 (木村直樹著)

黒船をはじめ世界各国の人々が日本を訪れ始めた江戸時代末期。もはや長崎で覚えたオランダ語だけでは通用しなくなった通訳たちから見た異色の幕末史です。

『画文集 炭鉱に生きる』 (山本作兵衛著)

明治・大正・昭和三代にわたって炭鉱で働いてきた著者が炭鉱での作業や生活の様子を丁寧に描いた数百枚の絵と記録をまとめた画文集の新装版です。

『日本人の知らない日本語3』 (蛇蔵・海野風子著)

『降霊会の夜』 (浅田次郎著)

『気分上々』 (森 絵都著)

『標高二八〇〇米』 (樋口明雄著)

『浄土真宗はなぜ日本でいちばん多いのか』 (島田裕巳著)

『希望の地図』 (重松 清著)

『平蔵の首』 (逢坂 剛著)

『鉄のしづきがはねる』 (まはら三桃著)

『通訳』たちの幕末維新』 (木村直樹著)

『画文集 炭鉱に生きる』 (山本作兵衛著)